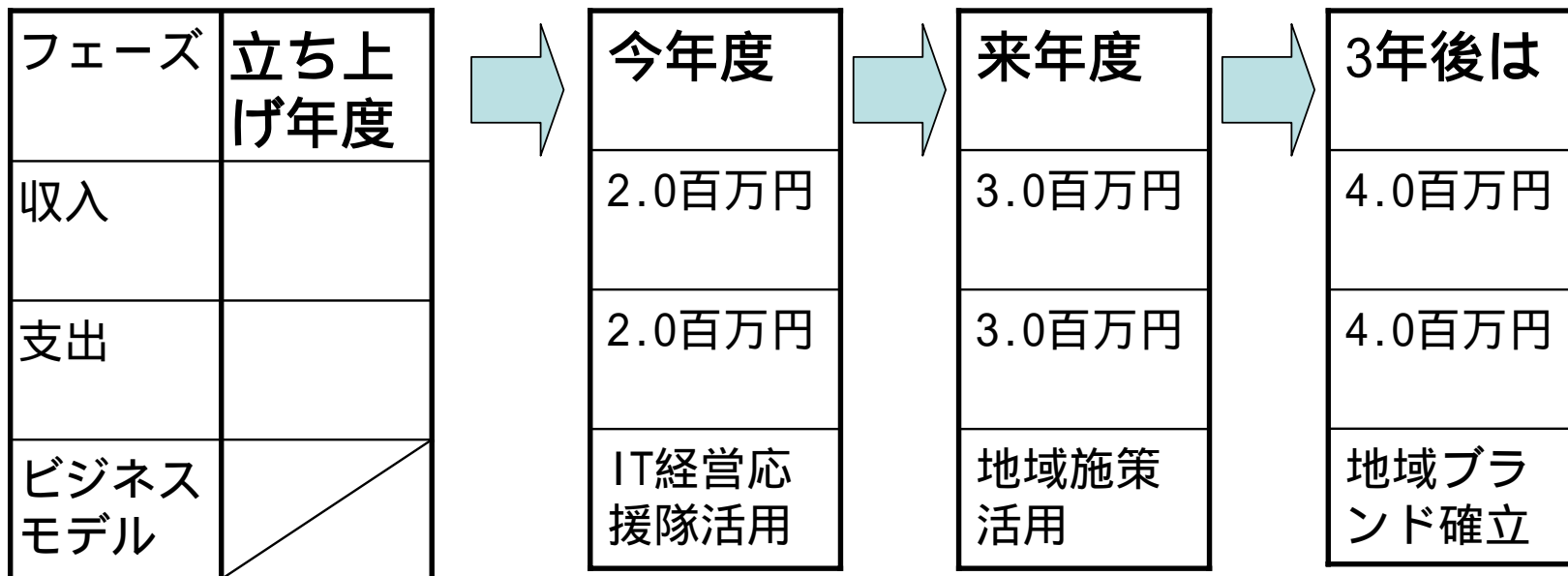


ITC江東 活動計画

2006年6月30日
ITC江東

作成：ITC江東事務局

ITC組織としてのビジネス目標



地域応援隊活動の成熟度チェック(H17年度末)

プレーヤ 展開度	オーガナイザ・ ITC	地元自治体	地域支援機関 (商工会議所等)	地域金融機関	地域ITベンダー	地域中小企業 (モデル企業)
レベル1 IT経営応援 隊を理解中	IT経営応援隊 活動を理解し 説明できる	IT経営応援隊 活動の意義を 理解できる	IT経営応援隊活 動のサービスを 理解できる	IT経営応援隊 活動のサービ スを理解できる	IT経営応援隊活 動を理解してい る	IT経営応援隊 活動を理解し ている
レベル2 地域で推進 体制が構築	地域の各プ レーヤと人脈 が構築され活 動を推進する	定期会議に参 加し、前向き に発言してい る	自組織支援メ ニューとの差異を 理解し、改善提 案を出す	リレーシオン シップバンキン グに活用する	地域における自 社のポジションが 明確である	簡易経営戦略 立案を実施す る
レベル3 地域特性を 把握中であ る	地域ニーズに マッチした企画 を立案できる	産業振興政策 や施策との連 動を調整して いる	自組織支援メ ニューに本活動 をうまく取り入れ ようとしている	モデルとなる企 業選定に協力的 である	地域特性に合わ せたサービス提 案がITCニーズ に合っている	具体的な経営 課題を選定し 課題解決に取り 組んでいる
レベル4 仮説を検証 中である	ニーズに合っ た教材や方法を 企画・開発し ている	IT経営応援隊 の活動を評価 する基準が明 確である	会員からのニ ーズによる支援メ ニュー改善を提 案できる	選定企業先で の支援内容を 理解し、紹介 対象企業を拡 大する	モデル企業のIT 化導入で実績が あがる提案となっ ている	課題解決にIT 活用を取り込 んでいる
レベル5 地域で自立 した活動	地域で自立す るスキームとし て定着させモ ニタリングする	地域全体最適 の視点で各支 援サービスを リードしている	ITCを自組織活 動に取り込み会 員からのCS向上 に努めている	融資先の評価 向上につなが る活動ができ ている	ITCと協力して成 功事例実績が出 ている	IT経営成熟度 が1ランクアッ プし、事例発表 ができる

ターゲット地区のキー・プレイヤー概要(H17年度末)

キー・プレイヤー	名称・部門	折衝者と役職	成熟度レベル	課題（成熟度レベルを上げるには）
地域金融機関	ひがしん (東京東信用金庫)	・本部営業推進部副部長	0～1	・信頼アップ(実績)
自治体	・江東区 ・墨田区	・経済課課長 ・今後	0～1	・信頼アップ(実績) ・PR
商工会議所	・江東支部 ・墨田支部	・事務局長 ・今後	0～1	・信頼アップ(実績) ・PR
他の支援機関	江東産業連盟 ほか	・専務理事	0～1	・信頼アップ(実績)
地域ベンダー	ITC江東会員 企業ほか	・代表会員を通して。	0～1	・PR、実績
ITC			2	・実績の積み上げ

支援ターゲットの絞り込み(江東区地域)

	お客様のプロフィール	ニーズ	ニーズレベル	ITC組織の解決能力・課題
ターゲット層	<p>業種: 製造業(43%) サービス業(22%) 建設業(11%)</p> <p>規模: 年商30億未満(87%) 100人未満(86%)</p> <p>経営課題: 売上拡大、新規開拓</p>	<p>・お金が掛からず、 相談できる・支援を受けられる相手</p> <p>・お金が掛からず、 相談できる・支援を受けられる組織</p>	<p>仮説 調査中 確認済</p>	<p>・IT系に強い。 ・経営系に弱い。 ・会員メンバが属しているIT会社のビジネス対象企業規模に合わない。</p>

ターゲット地区における伝道師企業選出(江東区)

	伝道師候補企業名	推薦者	業種	具体的経営課題
1	精和産業(株) (20億)		製造業(塗 装・清浄機)	新市場開拓、顧客対応 力強化
2	小川クラウン(株) (12億)		繊維化工業 (テント系)	営業力強化、新製品開 発
3	(株)サニーフーズ (28億)		食品卸(産直 問屋)	顧客対応力強化
4	梅沢事務所 (個人)		サービス(ビルメン テ)	新規顧客開拓
5	門脇硝子 (個人)		製造業(ガラ ス:江戸切子)	受注拡大
6	(株)徳倉 (39億)		製造業(砂糖 の粉碎)	受注効率化

3ヶ年計画

	H17年度	H18年度	H19年度	
本事業の視点	ニーズに合った支援スキーム開発	+ モデル企業の経営改善	支援企業の拡大	
地域企業から見た 本事業の視点	活動組織の認知・信頼	+ 成果・結果の認知・信頼	成果・結果の継続的排出	
連携機関の視点	ひがしん	認知	信頼・有効性認識 支援(講座)の充実	モデル企業を選定 実績・成果
	江東区 墨田区	関係構築	モデル企業を選定 実績・成果	・モデル企業事例報告 による地域への啓蒙
	江東産業連盟	関係構築	モデル企業を選定 実績・成果	・モデル企業事例報告 による地域への啓蒙
	その他支援機関	関係構築	モデル企業を選定 実績・成果	・モデル企業事例報告 による地域への啓蒙
年度別活動ポイント	ニーズ確認 問題点抽出 現状把握 課題策の検討	スキームの実践 地域内へのPR スキームの改善 他地域拡大	適用PJの拡大 目標値、先行指標の設定による活動のモニタリング	

H 1 8 年度活動方針

活動施策の「選択と集中」。活動資源・パワーの集中投入。

H 1 8 年度優先課題

経営革新成功事例の輩出

経営革新成功事例を継続的に生み出せる組織連携と流れの確立

IT経営の取り組み開始企業数の拡大（啓発、気づき支援）

H 1 8 年度優先施策

H17年度活動での候補企業から、IT活用型課題解決企業の輩出

候補企業 1 ～ 2 社に対する課題解決支援コンサル、またはIT投資・活用支援コンサルの実践、完了。4月～12月。

H17年度活動ででてきた連携候補先と、お互いメリットがあり、次の課題解決支援コンサルなどへ繋げられる施策の企画・実施。さらに、その実行を通して、連携候補先との信頼関係構築・信頼関係強化を図る。企画提案 4月～

施策案：経営者向け研修会、成熟度診断 など

IT経営セミナー、IT活用なんでも相談室、広報活動などの施策に関して、

H17年度調査事業結果をふまえ、産業状況・ニーズにあった形での展開に見直し。

IT経営セミナー：9月、2月、3月 IT活用なんでも相談室：4月～

ITC江東の一連のサービス

強い企業

中小企業

施策

施策

施策

IT経営
未認識

IT経営
関心

IT経営
気づき

課題抽出
・認識

課題解決

接触
ポスター
ちらし
雑誌
口コミ
HP

セミナー
勉強会
イベント
IT相談室
交流会

集合

経営戦略策定
研修会
レベルアップ研
修会

集合

成熟度診断
専門家派遣
(国、区の補助活
用)

個別

課題解決支援コ
ンサル
IT投資・導入・活
用支援コンサル
個別

接触

啓蒙・啓発

気づき支援

分析支援

解決支援

IT経営支援
サービス&スキーム

(社)東京都江東産業連盟、ITC江東、ITC協会、
江東区、墨田区、関東IT経営応援隊、各支援機関等、
ITベンダー

H18年度活動（CSF）概要

H18年度活動テーマ	具体的内容	成果物
1 地域経済活性化の目的を同じくする地域組織との連携を強化する。(相乗効果)	・課題共有による有効施策の連携企画(啓発セミナー、マッチングセミナー、事例セミナー、実践講座など)	・各イベントの集客増 ・活動継続実績
2 モデル企業数社に対する具体的成果出力と地域伝道師への関係構築	・モデル企業に対する注力したIT経営アプローチの実践・支援 =>確実に成果を出す	・成功事例 ・伝道師
3 地域組織と既に連携している施策の強化(効果増)	・ITなんでも相談室訪問者の継続的、確実なフォロー。機会損失にならぬよう小さな成功事例に発展させ積み重ねる。	・訪問者数増
4 江東地域・近隣地域へのさらなる密着、連携、貢献	・江東区地域活動への参画/貢献 ・連携機関イベントへの参画/貢献 ・墨田区、。。。。	・地域での知名度 ・信頼関係
5 ITC江東活動におけるIT利活用強化(情報発信、収集、共有)	・HP充実 ・活動支援ツール整備など	・HPアクセス数 ・支援ツール

「じょうとうIT経営応援隊賞」

事業企画

2006/9/6版
ITC江東

目次

- 1 . 実施の目的・方針
- 2 . 開催体制
- 3 . 実施内容
- 4 . 費用処置
- 5 . ITC江東内実行体制
- 6 . 実行スケジュール

1. 実施の目的・方針

【目的】

経済産業省は、中小企業の戦略的情報化を促進する目的で、平成16年6月から「IT経営応援隊」を立ち上げ、中小企業におけるIT利活用による経営改革事例の発掘・輩出を行っており、平成17年3月には、中小企業経営者の目標となりえるような事例「IT経営百選」の選出を行いました。

そこでは、全国から応募してきた134社の中堅・中小企業のうち、「ビジネス戦略・経営改革」と「高度なIT活用」という大きく2つの視点で高度な「IT経営」を実現している「最優秀賞(26社)」などが選出され、江東区内では1社が選出されました。

今回、東京都城東地域において、『自社の経営革新に戦略的にITを利活用しようとする中小企業経営者』が増えるよう、より身近な成功企業として参照できる事例を紹介したいと考え、経営戦略やITの活用実態など優れた事例企業を募集し、『じょうとうIT経営応援隊賞』として、選出し表彰を行います。そして、選出された企業様には、主催、後援団体のご協力を得ながら優秀事例として、広くPRをさせていただきます。

1. 実施の目的・方針

【本企画の到達目標イメージ】

城東地域において、優れた「ビジネス戦略・経営改革」を実践している中小企業、「高度なIT活用」を実践している中小企業が、クローズアップされる。

それらの中小企業は、他の多くの地域企業に対し、身近な成功事例として、貴重な示唆やヒントの提供者となる。

ヒントを得た中小企業が、次の機会には、また他の企業の先進事例となる、という循環が期待できる。

1. 実施の目的・方針

【企画の位置づけ】

東京都城東地域における中小企業に対し、継続的で、自立的な支援スキームの構築と、支援パワーの継続発展を通し、地域における産業の発展、活性化に、寄与する活動とする。

経済産業省のIT経営応援隊事業、関東経済産業局の関東IT経営応援隊事業「地域コミュニティ形成事業」も同様の目的で実施されており、相乗りすることによる活動資金面での補助の期待と、活動自体に、国の事業との連携というステータスを持たせる。



1. 実施の目的・方針

城東地域中小企業



支援組織・団体

行政、支援団体、支援組織、加盟団体、金融機関、企業など
コミュニティ形成

平成18年度関東IT経営応援隊プロジェクト
地域支援コミュニティ形成事業
計画書

1. 事業プロジェクト名

城東地域IT経営応援隊事業

2. 事業の背景

【対象とする地域の中小企業特性について】

<対象とする地域>

東京都江東区、墨田区を主に、東京都城東地域。

<中小企業の特性や課題等>

平成16年調査で、江東区は約1.8万の事業所、24万の従業者、墨田区は約1.7万の事業所、15万の従業者が働いている。いずれも、都市型産業へと急速に発展してきており、従来からの産業、繊維、木材、ガラス、印刷、製本、金属、機械関連産業などは中心産業でありながらも、企業数、従業員数共に減ってきており、江東区では新しく情報関連業の集積が目立ってきている。

従来からの産業が、減ってきており、これが地域全体の活気を鈍らしていると考えられる。これらの企業は、従業員数も少ない小規模企業が多く、経営にITの活用も遅れているという特性がある。

【対象とする地域におけるこれまでの活動実績】

2003/10 に設立された江東区に勤務するまたは在住するITコーディネータで組織されたITC江東に企画・運営を委託し、江東区の施策とも連携し、以下の通り、IT経営の啓発、伝道を進めてきた。

[江東区]

H15年度：ITなんでも相談室(毎週木曜AM)、IT経営啓発セミナー、ITSSP経営者研修会

H16年度：ITなんでも相談室(毎週木曜AM)、IT経営啓発セミナー、ITSSP経営者研修会、個別コンサル

H17年度：ITなんでも相談室(毎週木曜PM)、IT経営啓発セミナー、経営者研修会、個別コンサル

(IT経営応援隊事業連携)

[墨田区]

H17年度：墨田区両国開催の東京東信用金庫主催のユーザーセミナーでIT経営講演・展示

3. 事業内容

[対象とする地域における活動の全体概要]

< 活動を行うにあたっての問題意識・目標 >

[活動目標 = 関東IT経営応援隊プロジェクト目標]

1. 中小企業自身が、確固とした経営の軸を持ち、経営革新を目指した戦略的なIT活用を行えるようになること。
2. 中小企業の戦略的IT活用を推進するにあたって、IT企業が自らの競争力強化を図るためにも「中小企業市場」をどう捉え、何をすべきかを考えられるようになること。

[地域の問題点] 昨年度、江東区企業調査などにより

1. 長年の下請け、孫請け形態からくる経営やIT利活用への意識・行動の消極さ。
2. 急速なネット社会、IT社会発展における、経営戦略、ビジネス戦略の立案、見直しの迷い・戸惑い。
3. パソコン、インターネットの導入・活用は約6割と進んでいるものの、経営・ビジネスに「効果的」にIT活用されていない。企業業績につながっていないケースが多い。
4. 中小企業ターゲットで、製品・ソリューションを展開している地域ITベンダーの数が少ない。

上記のような地域固有の問題を解決し、地域産業、地域経済の発展に貢献することを目的とし活動する。

< 提案事業の詳細(事業ごとに実施内容・目的・目標を記載) >

1. 伝道師候補輩出のための普及・啓発事業

地域の中小企業のIT経営躍進の起爆剤となるようなIT経営啓発活動を地域のスキーム確立を通し行う

・活動内容: 「じょうとうIT経営応援隊表彰」の実施。

ターゲット地域の中小企業の中から、IT経営を実践し、経営革新に成果をあげている企業を選出し、表彰する。

それにより、身近なIT経営実践のモデル企業の輩出と、地域の中小企業の支援プレイヤー間、およびその施策間を有機的に結びつけ、継続的支援を行えるスキームを確立する。

1月に表彰式開催予定で、計画、準備する。

・目的: 中小企業の経営者たちに、ITやIT経営を身近に知って、感じてもらい、不安やためらいを解消し、身の丈にあったところから、IT経営の行動を起させる(IT経営への強い動機付けを行う)。

IT経営の考え方や具体的手順がわからなかったり、最近のITそのものが身近でなかったりして、経営にITが活かされていないなど、IT不明、IT拒否などの壁をもつ中小企業経営者たち(インプット)に対し、まずはこれらを広く取り除く必要がある。

・活動目標: 地域内のIT経営実践モデル企業を15社選出

・フォロー: モデル企業のPRと、他の地域企業に対して、そのモデル活用方法の啓発と普及により、IT経営を支援していく。

2. 伝道師候補輩出のためのプレハンプオン支援事業

IT経営の具体的支援活動による伝道師輩出

- ・活動内容: H17年度の調査事業より、支援要望の高い企業郡を中心に、ITC江東およびIT企業が中心となって、集中的に、対象産業の経営の状況・課題を把握し、その解決策として、ITやIT経営の勉強会、経営者研修会、個別コンサルを実施し、対象産業に属する企業のIT経営を具体的に支援する。
- ・目的: 具体的なIT経営の支援策としての経営者研修会や個別コンサルにより、IT利活用型経営革新に取り組む企業、または、経営革新により成果を現してきた企業を数多く輩出することを目的とする。
- ・活動目標: 経営者研修会1回(15社)、IT経営成熟度診断(5社)、個別コンサル2社
- ・フォロー: 上記活動の結果、伝道師候補の経営者に対しては、ITC江東のメンバ主体に実施するスキルアップ研修や継続コンサルを通し、自社の改革が継続して行えるよう支援していく。
また、事例セミナーなどで、自社の改革への取り組み状況を発表してもらうことで、伝道師としての役割を果たしてもらう。

3. 地域中小企業ニーズ把握・課題解決のための調査事業

事業成果のモニタリングと、課題フィードバックのための調査活動

- ・活動内容: ターゲット地域の中小企業を対象にし、経営やITに関するアンケート・ヒアリングによる調査を実施する。
ターゲット地域内の行政機関、支援団体、金融機関、ITC江東と連携し実施する。
今年度は、10月～2月で実施する。
- ・目的: 昨年度から今年度に掛けてのIT経営啓発活動の成果モニタリングとして、また新たな課題認識として、さらにそれらの課題解決に向けた分析・手法の開発を目的として実施する。
- ・活動目標: IT経営実践に向けて、ターゲット地域内の各種産業におけるIT経営の「壁」を、より具体的に浮き彫りにし、普及・啓発や支援事業を、より効果的に、より効率よく、実施できるようにする調査結果のアウトプット。
- ・フォロー: 上記活動の結果、導き出された調査・分析結果は、次年度の事業の活動計画に組み込む。

【対象とする地域における活動を通じて期待される効果】

< 事業全体 >

効果 => 江東区基本構想である「江東・伝統と未来を結ぶ下町」という未来像に向け、産業面での活性化が推進される。

< 個別事業ごと >

1. 伝道師候補輩出のための普及・啓発事業

地域の中小企業のIT経営躍進の起爆剤となるようなIT経営啓発活動を地域のスキーム確立を通し行う

効果 => ターゲット地域の中小企業でのIT経営ニーズの高まり

2. 伝道師候補輩出のためのプレハズオン支援事業

IT経営の具体的支援活動による伝道師輩出

効果 => ターゲット地域におけるIT経営の導入進展と伝道師候補輩出

3. 地域中小企業ニーズ把握・課題解決のための調査事業

事業成果のモニタリングと、課題フィードバックのための調査活動

効果 => 次年度へのフィードバックと事業そのものの質の向上

4. 実施体制

【全体スキーム図(連携機関等との役割分担も含む)】

<p>実施機関: 東京都江東産業連盟(事業責任、契約・経理、推進まとめ、加盟企業: 約500社に対する事業PR)</p> <p>委託 => ITC江東(事業内容企画・運営・要員輩出)</p> <p>後援 => 江東区区民部経済課(事業後援、区内団体への事業PR) 予定</p> <p>後援 => 墨田区 すみだ中小企業センター(事業後援、区内団体への事業PR) 予定</p> <p>事業共催 => 東京商工会議所</p> <p style="padding-left: 40px;">江東支部(加盟企業: 3000社に対する事業PR、集客) 予定</p> <p style="padding-left: 40px;">墨田支部(加盟企業に対する事業PR、集客) 予定</p> <p>事業共催 => 東京東信用金庫(顧客企業に対する事業PR、集客) 予定</p> <p>事業協力 => NPO法人 ITC協会(事業支援、事業PR) 予定</p>

【提案事業者の実施体制(責任者、契約・経理担当、実施担当者ごとの役割分担等)】

<p>提案事業者: 東京都江東産業連盟</p> <p>責任者: 谷岡 専務理事</p> <p>契約・経理担当: 柳澤 事務局長</p> <p>委託・事業とりまとめ: 星野 主任</p>
--

【連携機関との関係】

想定している連携機関名	所属/氏名	想定している役割/これまでの関係
ITC江東	会長/池島様	事業内容企画・運営・要員輩出
江東区	区民部経済課/井出様	事業の後援、区内団体への事業PR
すみだ中小企業センター	館長/久保様	事業の後援、区内団体への事業PR
東京都商工会議所江東支部	/上條様	加盟企業に対するPR・集客などの認知活動
東京商工会議所墨田支部		加盟企業に対するPR・集客などの認知活動
東京東信用金庫	営業推進部/石毛様	加盟企業に対するPR・集客などの認知活動
NPO法人 ITC協会	広報/松下様	事業支援、事業PR

5. 今後の自立・継続的活動に向けて

< 自立・継続的活動に繋がる展開ビジョン、工夫など >

1年目(昨年度):事業の地域認知と実施スキームの立ち上げ・確立:成熟度レベル2

2年目(今年度):本事業のPDCAサイクルの定着と計測の確実な実施:成熟度レベル3~4

3年目(来年度):事業の継続的な改善・実施の定着:成熟度レベル4~5

調査活動を毎年度実施することで、課題・問題点などと合わせて成果の現状認識をし、PDCAのサイクルでの継続・持続活動とする。

6. 今年度の実施計画(スケジュール)

3. 事業内容欄に記載した個別事業ごとに実施時期を記載(以下の記載例を参考に)

実施事業	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 伝道師候補輩出のための普及・啓発事業									
1-1 じょうとうIT経営応援隊 賞募集・実行委員会準備		←	→						
1-2 じょうとうIT経営応援隊 賞募集行				←	→				
1-1 じょうとうIT経営応援隊 賞選考・表彰						←	→		
2. 伝道師候補輩出のためのプレハズオン支援事業									
2-1.経営者研修会					←	→			
2-1.成熟度診断+個別コンサル(5社)					←	→	→		
3. 地域中小企業ニーズ把握・課題解決のための調査事業									
3-1.調査準備				←	→				
3-2.調査						←	→		
3-3.分析策定							←	→	

7. その他(PRしたい点など)

ITC江東と連携したITSSP事業、IT経営応援隊事業での実績があり、また、そこでの、課題認識・分析・対策も含めた企画内容であり、今年度の地域支援コミュニティ形成のモデル事業にふさわしい企画内容であると判断している。

2. 開催体制

【開催体制案】

発起人:

確定・社団法人 東京都江東産業連盟 谷岡専務

確定・ITC江東 池島会長 or 横山副会長

実行委員会委員候補:

上記、発起人に加え、

確定・関東経済産業局 様

後援のみ・財団法人 東京都中小企業振興公社 城東支社 様

確定・江東区 様

9/14・墨田区 様

後援不可、協力のみ・葛飾区 様

・江戸川区 様

・江戸川工場協会 様

・葛飾区工場連盟 様

・本所工業会 様

9/8・東京東信用金庫 様

・ITC協会 様

・ITC江東役員所属 ITベンダー企業 様

ITC江東

2. 開催体制

【開催体制案】

「じょうとうIT経営応援隊賞」選考委員候補：

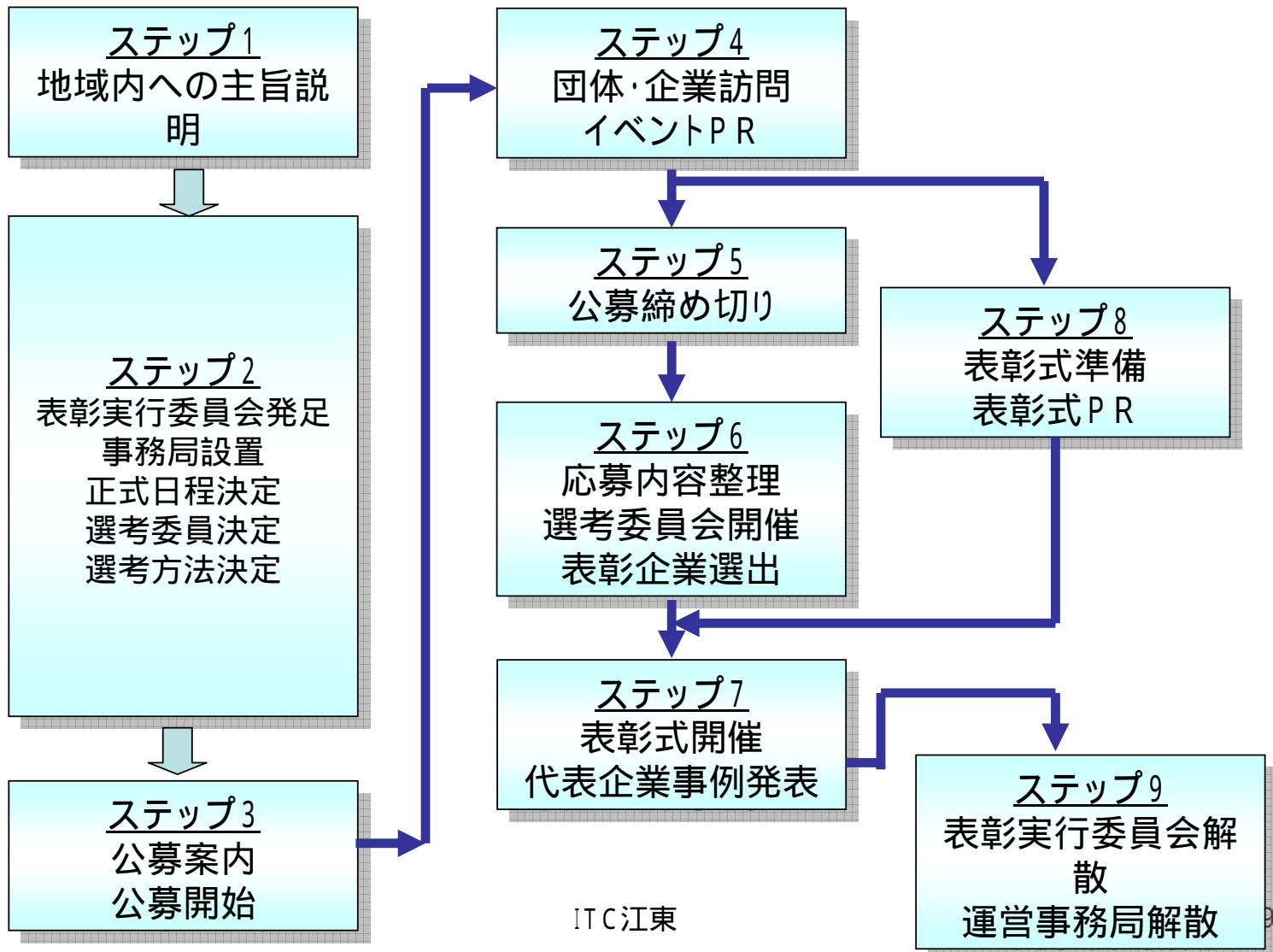
委員長候補：

・

委員候補：

- ・東京海洋大学 様
- ・芝浦工業大学 様
- ・COMPASS 様
- ・前記、実行委員の皆様
- ・ITC江東(事務局)

実施手順



3. 実施内容

【表彰内容(案)】

方法:「応募記入用紙」「自己評価表」記入による応募方式。

応募期間:2006年11月1日～2006年11月30日

応募対象:東京都城東地区(江東区、墨田区、江戸川区、葛飾区)内の
中小企業者

応募にあたってのポイント:

応募にあたっては、各企業が自社の経営革新の進捗度とIT利活用の視点
に対して自己評価することを前提とし、改めて自社の経営の品質を振り返る
機会とする。 ビジネスの視点、ITの視点の両方から評価を行う。

3. 実施内容

【表彰内容(案)】

評価基準：

(1) ビジネス戦略・経営改革の視点

- ・業績が好調に推移しているか～利益、売上高の継続的な目標達成度など
- ・明確なビジネスモデルを実現しているか～提供される付加価値、コスト、スピードなど
- ・経営の自立化ができているか～特定顧客への依存度など
- ・満足度経営を実現しているか～顧客満足度、従業員満足度など
- ・地域の特性を生かしたビジネスを展開しているか
 - ～流通の利便性、地場産業を生かしたビジネス、また逆に、土地の不利を克服するための取り組み(ex. 実店舗での売上げ低迷からネットショップへの転換など)

(2) IT高度活用の視点

- ・社内コミュニケーションへの活用ができているか
- ・営業・マーケティングへの活用ができているか
- ・業務プロセスの効率化への活用ができているか
- ・人材・ノウハウの効率的活用ができているか
- ・情報セキュリティ対策ができているか

3. 実施内容

【表彰内容(案)】

表彰概要(例)： 応募企業の全てを表彰。

- ・最優秀賞 経済産業省関東経済産業局賞：2社
- ・優秀賞：5社
- ・WEB活用賞：2社
- ・データベース活用賞：1社
- ・伝統IT融合賞：2社
- ・ヒューマンネットワーク活用賞：1社
- ・モバイル活用賞：1社
- ・奨励賞：26社

採点方法(案)：

- ・各選考委員は、応募書類をもとに、経営に視点から5項目、ITの視点から5項目、計10項目を各5点満点で採点。
- ・さらに、各社のHPなど応募書類には現れていない特徴などにも配慮して、特に、「独自の取り組み」があったところには5点を満点として加点。
- ・応募企業の規模、業種やITとの関わりの多様性も考慮。
- ・追加で賞を設けることも考慮。

3. 実施内容

【表彰内容(案)】

表彰式(案):

- ・時期:1月下旬
- ・内容:上記時期の参画団体の開催イベントの中で実施。
事例発表会などとし、最優秀企業に事例発表していただく。
- ・贈呈:???
- ・その他:じょうとうIT経営応援隊賞のHP内で表彰企業名公開。

4. 費用処置

【費用内容】

概算費用：計約 ¥ 1,199,602

- ・事務庁費(委員会会議費) 50,000円 @1,000 × 10人 × 5回
- ・事務庁費(委員会会場費) 50,000円 @5,000 × 10回
- ・謝金(専門家謝金:企業選考) 500,000円 @5,000 × 10人 × 10社訪問
- ・旅費(専門家旅費:企業選考) 200,000円 @2,000 × 10人 × 10社訪問
- ・事務庁費(表彰会場・設備費) 50,000円 @50,000 × 1回
- ・事務庁費(案内チラシ印刷費) 200,000円 @40 × 5,000枚
- ・予備 149,602円

費用手当て概算：計約 ¥ 1,199,602

- ・関東IT経営応援隊「コミュニティ形成事業」: ¥1,199,602

5 . ITC江東内推進体制

【ITC江東内推進体制】

推進リーダー：岡野事務局長

推進サブリーダー：XXX理事

関連担当： 組織連携担当：川崎事務局
ITC江東事務局：直江事務局

活動メンバー： (ITC江東会員から公募) 数名

6. 実行スケジュール

【実行スケジュール】

実施事業	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1. 伝道師候補輩出のための普及・啓発事業										
1-1 じょうとうIT経営応援隊 賞募集・実行委員会準備		←→								
1-2 じょうとうIT経営応援隊 賞募集行				←→						
1-1 じょうとうIT経営応援隊 賞選考・表彰						←→				

END